

帝國大學新聞

編輯部：東京市千代田区三番町
電話：三三三三

印刷部：東京市千代田区三番町
電話：三三三三

支店：東京市千代田区三番町
電話：三三三三

支店員紙印刷 垣見及吉堂

印刷部：東京市千代田区三番町
電話：三三三三

新たな認識の上に

大学の機構も一新

多忙の羽田総長一寸話



長 總田 羽

「羽田総長は、この秋、多忙な中、記者の懇談に時間を割いてくれた。その中で、大学の機構改革について、詳しく話を聞いた。その要旨をここに紹介する。

「まず、大学の使命について。大学は、社会の発展のために、知識を創造し、それを伝える役割を担っている。そのためには、最先端の研究と、優秀な人材の育成が不可欠である。

「その観点から、大学の組織を一新する必要がある。従来のような、学部の縦割りが、横断的な研究や教育を妨げている。そこで、学際的な研究を促進するために、新しい研究センターを設置し、学部長制を導入する。

「また、教育面でも、従来の講義中心の授業から、学生主体の学習へと転換させる。そのためには、教員の負担を軽減し、授業の質を向上させる必要がある。

「以上が、私の考える大学の改革の方向性である。これを実現するために、我々教職員は、最大限の努力を尽くすつもりである。

大學豫算査定に

本學新豫算續々登場

物理探微學講座先づ本極

「本学は、本年度の予算査定に、従来の枠組みを打破し、新しい予算案を提出した。その中心は、物理探微学講座の拡充にある。

「この講座は、物理学の最先端分野である量子力学と、探微学の融合を図ることで、新しい発見を促すことを目的としている。そのために、最新の設備を整え、優秀な研究者を招聘する。

「また、教育面でも、この講座の成果を広く社会に還元するために、公開講座や夏期講習会を開催する。

「以上が、本年度の予算案の概要である。これにより、本学の研究と教育が、さらに一歩進歩することを期待している。

兵役改正法愈々實施

修學中斷一波紋(何處へ)

「兵役改正法の施行により、多くの学生が修学を中断せざるを得ない状況となっている。これは、教育界にとって大きな課題である。

「政府は、この問題を解決するために、奨学金制度の拡充や、職業訓練の充実を打ち出している。しかし、これだけでは不十分である。大学側も、柔軟な対応が必要である。

「例えば、修学を中断した学生に対しては、単位認定や履修免除の制度を導入し、復学を支援する。また、社会人学生を増やすことで、教育の機会を確保する。

「以上が、大学側が取るべき対応策である。これにより、学生が安心して学べる環境を整える必要がある。

佐々木惣一博士

學士院會員に



佐々木 惣一

「佐々木博士は、学術界のリーダーとして、活躍している。その中でも、学術院の発展に力を入れている。

「学術院は、学問の発展を促進するために、重要な役割を担っている。そのためには、学術院の組織を強化し、学術活動を支える必要がある。

「また、学術院と社会との連携を強化し、研究成果を社会に還元する。そのためには、産学連携を推進し、共同研究を進める。

「以上が、佐々木博士の学術院に対する考えである。これにより、学術院の機能が十分に発揮されることを期待している。

成人教育講座

本年度教練實施

「本年度の成人教育講座は、16日開始される。その内容は、多岐にわたる。その概要を紹介する。

「まず、基礎的な知識を習得するための講座がある。その中には、英語、簿記、簿記などがある。また、専門的な知識を習得するための講座もある。

「また、実践的なスキルを習得するための講座もある。その中には、簿記、簿記などがある。また、専門的な知識を習得するための講座もある。

「以上が、本年度の成人教育講座の概要である。これにより、社会人が必要な知識とスキルを習得できることを期待している。

谷川徹三氏來る

講演部主催の講演會

「谷川徹三氏は、著名な学者として知られている。その中でも、言語学と文化論の分野で活躍している。

「講演部は、谷川氏の講演を企画している。その内容は、言語学と文化論の融合についてである。その中で、谷川氏が独自の視点から、言語と文化の関係について論じている。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。



谷川 徹三

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

「谷川氏は、講演の中で、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの見解を述べた。

「また、谷川氏は、言語学と文化論の分野で、多くの研究成果を発表している。その中でも、言語学と文化論の融合について、多くの論文を発表している。

「以上が、谷川氏の講演の概要である。これにより、言語学と文化論の分野で、新しい発見を促すことを期待している。

山本有三全集

眞實を求めて
生きる者はこの
全集を手によせよ

これだけの傑作を、家庭でも、日々真摯な生活に直面する人々にとって、現代の文壇の多くは、あるには無縁のものであるかも知れない。しかし、この人々にとっても、本全集は決して無縁のものではない。二十五年の創作活動を振り返り、著者は、さきにかかっていたために、その筆をとりつづけたのである。當代文壇に見る質実篤実な文壇の文壇である。たかひに少なからざる意志と誠意をこめて、この全集が完成した。この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。

この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。著者は、この全集を通じて、読者に、生きる者の眞實な姿を、そして、その背後にある意志と誠意を、伝えることを目指している。この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。

この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。著者は、この全集を通じて、読者に、生きる者の眞實な姿を、そして、その背後にある意志と誠意を、伝えることを目指している。この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。

この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。著者は、この全集を通じて、読者に、生きる者の眞實な姿を、そして、その背後にある意志と誠意を、伝えることを目指している。この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。

この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。著者は、この全集を通じて、読者に、生きる者の眞實な姿を、そして、その背後にある意志と誠意を、伝えることを目指している。この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。

この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。著者は、この全集を通じて、読者に、生きる者の眞實な姿を、そして、その背後にある意志と誠意を、伝えることを目指している。この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。

この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。著者は、この全集を通じて、読者に、生きる者の眞實な姿を、そして、その背後にある意志と誠意を、伝えることを目指している。この全集は、著者の創作活動の軌跡を、そして、その背後にある意志と誠意を、この全集を通じて、読者に伝えることである。

集募約豫

1 小説 2 戯曲 3 生きた生 4 風 5 女の一生 6 異質 7 路傍の石 8 短編・物語 9 感想 10 詩

呈進本見内容内

店書波岩

東京・丸の内・丸の内
丸の内・丸の内・丸の内

丸善の新刊及重版

丸善の最新刊行本、重版本を一挙ご紹介。その中には、最新の学術書、小説、児童書などがあります。ぜひご覧ください。

食料工業

食料工業の発展を促すための最新技術と知識を学ぶ。その中には、食品の加工技術、食品の保存技術などがあります。ぜひご覧ください。

油脂實驗法

油脂の性質と実験方法を学ぶ。その中には、油脂の抽出方法、油脂の分析などがあります。ぜひご覧ください。

金屬材料及其加工法

金属材料の性質と加工方法を学ぶ。その中には、金属材料の加工技術、金属材料の検査などがあります。ぜひご覧ください。

丸善株式會社

丸善の最新刊行本、重版本を一挙ご紹介。その中には、最新の学術書、小説、児童書などがあります。ぜひご覧ください。

小作料の抑制の問題

渡邊 庸一 郎

小作料の抑制問題は、戦後農政の中心課題の一つとして、政府の注意を引いて来た。戦前、戦中を通じて、小作料は、農民の生活に深刻な影響を及ぼして来た。戦後、政府は、小作料の抑制を、農村政策の中心として、取り組んで来た。その結果、小作料は、戦前、戦中よりも、大幅に抑制された。しかし、小作料の抑制問題は、依然として、農村政策の中心課題の一つとして、残っている。その理由は、小作料の抑制が、農村の経済的発展を阻害しているからである。小作料の抑制は、農民の生活に有利であるが、農村の経済的発展を阻害している。その理由は、小作料の抑制が、農村の生産活動を抑制しているからである。小作料の抑制は、農民の生活に有利であるが、農村の生産活動を抑制している。その理由は、小作料の抑制が、農村の生産活動を抑制しているからである。



医療制度構改革

太田 武夫

医療制度の改革は、戦後日本の重要な課題の一つとして、政府の注意を引いて来た。戦前、戦中を通じて、医療制度は、国民の健康に深刻な影響を及ぼして来た。戦後、政府は、医療制度の改革を、国民の健康政策の中心として、取り組んで来た。その結果、医療制度は、戦前、戦中よりも、大幅に改革された。しかし、医療制度の改革問題は、依然として、国民の健康政策の中心課題の一つとして、残っている。その理由は、医療制度の改革が、国民の健康を阻害しているからである。医療制度の改革は、国民の健康に有利であるが、国民の健康を阻害している。その理由は、医療制度の改革が、国民の健康を阻害しているからである。

豫算編成の方針

文治堂 敬

大 政 敬

豫算編成の方針は、戦後日本の重要な課題の一つとして、政府の注意を引いて来た。戦前、戦中を通じて、豫算編成は、国民の生活に深刻な影響を及ぼして来た。戦後、政府は、豫算編成の方針を、国民の生活政策の中心として、取り組んで来た。その結果、豫算編成の方針は、戦前、戦中よりも、大幅に改革された。しかし、豫算編成の方針問題は、依然として、国民の生活政策の中心課題の一つとして、残っている。その理由は、豫算編成の方針が、国民の生活を阻害しているからである。豫算編成の方針は、国民の生活に有利であるが、国民の生活を阻害している。その理由は、豫算編成の方針が、国民の生活を阻害しているからである。

文壇を飾る名作、女性思想の巨匠、窪川鶴次郎著

現代文壇論

窪川鶴次郎著

中央公論社発行

定価 二五〇

現代文壇論

窪川鶴次郎著

中央公論社発行

定価 二五〇

公法雑誌

佐々木一雄 編

中央公論社発行

定価 二五〇

一九四〇年出版以来

獨文日記

和獨語用辭典

堂江南

必需期に際し大奉仕！

冬服と冬オーバー

京大共済部の榮譽ある御指定を賜つてをる弊店は、この戦時下物資統制の下に凡ゆる障礙を克服し以つて皆様の御期待に副ふべく、最善の努力を拂つて御奉仕を致してをります。

(共済部御指定値 制服上下 ¥33.00—¥36.00)
 なほ御奉仕各種の優秀生地を取揃へてあります

京大共済部指定

村田堂

本店 京都市寺町御池上ル (電上1593)
 出張所 京大學生中央控所共済部事務室内

國家家試

日一月二十 號三廿第・卷一十第
 銀二金 料送 銀十六金 價定

河原町今出川

安田銀行支店

河原町今出川

不眠症

神經衰弱に

E-キリン

鈴木海太郎博士相見

有機性磷化合物にて、鎊、カルシウム、を含有せる神經營養劑。白色無味にして服用し易く

不眠症、神經衰弱、腰痛、結核性疾患等に著効あるものとして専ら推奨されて居ります

三共株式会社

全學注目裡に 定期役員會迫る

改善の進化はどう現れるか

役員會の動向
華々しき論戰は無きか

役員會の動向
華々しき論戰は無きか

財政的苦難を反映 提出議案をみる

提出議案をみる
財政的苦難を反映

文樂研究会賑ふ

文樂研究会賑ふ
百日蠟燭もかしく

學生音楽の使命

學生音楽の使命
生活感情の表現としての音楽

樂團の技術的限界と 指揮者の把握力不足

樂團の技術的限界と
指揮者の把握力不足

遊學また辛い哉・高物價學生2 米と建築材料の昂騰 下宿屋も作戦昏迷

遊學また辛い哉・高物價學生2
米と建築材料の昂騰
下宿屋も作戦昏迷

物價騰貴に押され 學生 再度の値上げ

物價騰貴に押され
學生 再度の値上げ

超満員の盛況 京大 定期演奏會

超満員の盛況
京大 定期演奏會

秋の報告書

秋の報告書
秋の報告書

逆後評

逆後評
逆後評

歌舞伎講演

歌舞伎講演
歌舞伎講演



雪山は招く

雪山は招く
雪山は招く

就職と愁色

就職と愁色
就職と愁色

展別送美

展別送美
展別送美



る截を會交演

る截を會交演
る截を會交演

る截を會交演
る截を會交演

る截を會交演
る截を會交演

る截を會交演
る截を會交演

る截を會交演
る截を會交演

船造新華臺固一原世
れるるらぶ
近航航
満洲
金剛
瀬戸内海
大 阪 商 船 所
京 都 船 密 案 所 内
四 條 小 路 本 電 一 八 八

白井直眼鏡店
京都市大法院正門前 電話 3678

京大新聞御用
上田寫眞場
小山齒科醫院
伊佐早修治

文藝批評の規準

新しい時代の歩みの鑑

坂垣 直子



文藝批評の規準、新しい時代の歩みの鑑、坂垣直子。文藝批評は、単に作品の優劣を論ずるだけでなく、その背後にある社会意識や時代精神を読み解くことが求められる。

一般の教養としての数学

松本 敏三



大地 (川北民次)

一般の教養としての数学、松本敏三。数学は単なる計算技術ではなく、論理的思考や問題解決能力を養うための重要な教養である。

大地 (川北民次) の内容に関する詳細な批評や分析。この作品は、社会の暗黒面を鋭く描き出し、読者に強い印象を残している。

映書と文學の相違

最近本校批評から

今村 太平

映書と文學の相違、今村太平。映画と文学は異なる表現形式であり、それぞれが持つ強みや弱みを理解することが大切である。

映書と文學の相違に関する追加的な議論や事例の紹介。視覚的表現と言語表現の違いが、作品の受け取り方にどのように影響するかを考察している。

信男の使ひ、秋葉東三。この作品は、戦時体制下の社会情勢を背景に、個人の苦悩と奮闘を描いている。

信男の使ひに関する批評的考察。登場人物の心理描写や、社会批判の視点について詳しく分析している。

信男の使ひに関する追加的な考察や、作者の創作意図についての推察。

大舞台 行樂世兒顔例き べの日でま日十二. Advertisement for a theatrical performance with detailed cast and schedule information.

東山薬局. Advertisement for a pharmacy listing various medical products and contact information.

空想部落 人生の馬鹿. Advertisement for a play or performance, highlighting the theme of human folly.

京都警塚劇場. Advertisement for a theater performance, featuring a specific play and the theater's location.

南の誘惑. Advertisement for a performance or film, emphasizing the theme of temptation and passion.

相の唄. Advertisement for a performance, featuring a specific play and the theater's location.

國體の本義を高く 大學令第一條改正に 教審特別委員會で決定

皇國教育の根本を固め、國民の道徳的進歩を期す。この目的を達成するため、大學令第一條を改正し、教育の根本を國體に求め、その本義を高く掲げ、國民の道徳的進歩を期す。この目的を達成するため、大學令第一條を改正し、教育の根本を國體に求め、その本義を高く掲げ、國民の道徳的進歩を期す。

教育の根本を國體に求め、その本義を高く掲げ、國民の道徳的進歩を期す。この目的を達成するため、大學令第一條を改正し、教育の根本を國體に求め、その本義を高く掲げ、國民の道徳的進歩を期す。

知性の烽火・文化祭 再編成

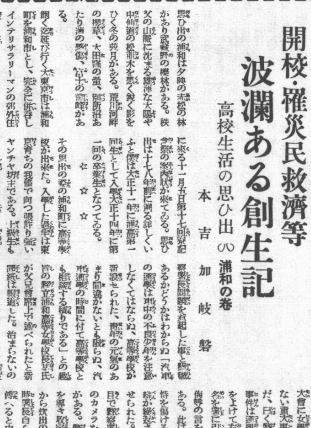
知性の烽火、文化祭の再編成。この活動は、學生の知性を高め、文化を享受することを目的として行われる。再編成された活動は、學生の興味を引くものが多いと見られる。

知性の烽火、文化祭の再編成。この活動は、學生の知性を高め、文化を享受することを目的として行われる。再編成された活動は、學生の興味を引くものが多いと見られる。

開校権災民救済等 波瀾ある創生記

開校権災民救済等、波瀾ある創生記。この創生記は、開校の経緯と、災民救済への取り組みを詳しく述べている。波瀾ある過程を経て、今日に至るまで堅持されている。

開校権災民救済等、波瀾ある創生記。この創生記は、開校の経緯と、災民救済への取り組みを詳しく述べている。波瀾ある過程を経て、今日に至るまで堅持されている。



開校権災民救済等、波瀾ある創生記。この創生記は、開校の経緯と、災民救済への取り組みを詳しく述べている。波瀾ある過程を経て、今日に至るまで堅持されている。

開校権災民救済等、波瀾ある創生記。この創生記は、開校の経緯と、災民救済への取り組みを詳しく述べている。波瀾ある過程を経て、今日に至るまで堅持されている。

歴史と文學 阿部知氏熱辯

歴史と文學、阿部知氏の熱辯。阿部知氏は、歴史と文學の関係を論じ、その重要性を強調している。熱い議論が展開された。

歴史と文學、阿部知氏の熱辯。阿部知氏は、歴史と文學の関係を論じ、その重要性を強調している。熱い議論が展開された。

學生生活に旋風 食堂再度値上げ断行

學生生活に旋風、食堂再度値上げ断行。食堂の値上げは、學生生活に大きな影響を与えている。学生たちは不満を抱いている。

學生生活に旋風、食堂再度値上げ断行。食堂の値上げは、學生生活に大きな影響を与えている。学生たちは不満を抱いている。

権威の化文高佐 講義部表面的に對立す

権威の化文高佐、講義部表面的に對立す。高佐氏の講義は、権威を重んじる傾向があり、講義部との間に表面的な対立が生じている。

権威の化文高佐、講義部表面的に對立す。高佐氏の講義は、権威を重んじる傾向があり、講義部との間に表面的な対立が生じている。

一宿望の豫科附設 愈々來春に實現

一宿望の豫科附設、愈々來春に實現。豫科の附設は、學生の希望を集めている。実現に向けて準備が進んでいる。

一宿望の豫科附設、愈々來春に實現。豫科の附設は、學生の希望を集めている。実現に向けて準備が進んでいる。



一宿望の豫科附設、愈々來春に實現。豫科の附設は、學生の希望を集めている。実現に向けて準備が進んでいる。

一宿望の豫科附設、愈々來春に實現。豫科の附設は、學生の希望を集めている。実現に向けて準備が進んでいる。

静かなる研究の船を 野上俊夫教授の談

静かなる研究の船を、野上俊夫教授の談。野上教授は、静かなる研究の重要性を語り、自身の研究について語っている。

静かなる研究の船を、野上俊夫教授の談。野上教授は、静かなる研究の重要性を語り、自身の研究について語っている。

城(四回) 高橋敏雄

城(四回)、高橋敏雄。高橋敏雄の著作「城」の四回目を紹介している。内容は、城の歴史と文化について詳しく扱っている。

城(四回)、高橋敏雄。高橋敏雄の著作「城」の四回目を紹介している。内容は、城の歴史と文化について詳しく扱っている。

不知火祭の盆祭 文化の再出発

不知火祭の盆祭、文化の再出発。盆祭の開催は、地域の文化を再興させるきっかけとなっている。

不知火祭の盆祭、文化の再出発。盆祭の開催は、地域の文化を再興させるきっかけとなっている。

法律相談所設立 法友會積極的に動く

法律相談所設立、法友會積極的に動く。法友會は、法律相談所の設立を積極的に推進している。

法律相談所設立、法友會積極的に動く。法友會は、法律相談所の設立を積極的に推進している。

チヌス饅頭事件 瀧川幸辰氏講演

チヌス饅頭事件、瀧川幸辰氏講演。瀧川幸辰氏は、チヌス饅頭事件について講演し、その経緯を詳しく説明した。

チヌス饅頭事件、瀧川幸辰氏講演。瀧川幸辰氏は、チヌス饅頭事件について講演し、その経緯を詳しく説明した。

眼鏡

店鏡眼川吉 正廉専門 眼鏡専門 正廉専門

河原町通 川南入

石田眼科

河原町今川南電停前

カメラ各種 修理

京都で最も確かなセコホン店

ストリートショップ

カメラ各種 修理

高級學生帽製造販賣 京山帽子店

京東山製帽社

京東山製帽社

府立眼科大學眼科

赤十字社京都支部

合服のお手入れは只今です

京都市唯一のクリーニング

上木堂ホスピタル

百萬通電停前 電上三九七

百萬通 上木堂洋服店

京都市中川町

榮ある皇紀2600年の新春

京東山製帽社

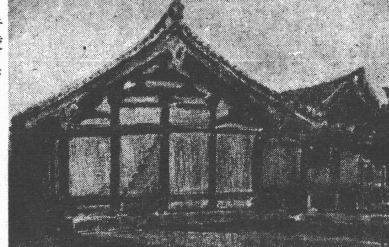


西田哲學に育つ
愛・表現愛・人間

—木村嘉善氏の証言—
土井虎賀著

西田先生は、著者の言葉を通じて、西田先生の人生の歩み、西田先生の心、西田先生の愛が、読者の心の中に響き、そして、その愛を受けて、愛を表現し、愛を人間にする。それが、西田先生の教育の目的であった。...

西田先生の教育の目的は、愛を人間にする。愛を表現し、愛を人間にする。それが、西田先生の教育の目的であった。...



青陵がく — 著者西田哲三の母校

西田先生の教育の目的は、愛を人間にする。愛を表現し、愛を人間にする。それが、西田先生の教育の目的であった。...

著者西田哲三
義主本資本日
達者導指の上史

西田先生の教育の目的は、愛を人間にする。愛を表現し、愛を人間にする。それが、西田先生の教育の目的であった。...

大山定一氏譯
カエマルテの日記

芳賀 檀

大山定一氏の『カエマルテの日記』は、...

外山重法氏著
〇「岳飛と秦檜」

三田村 泰助

外山重法氏の『岳飛と秦檜』は、...

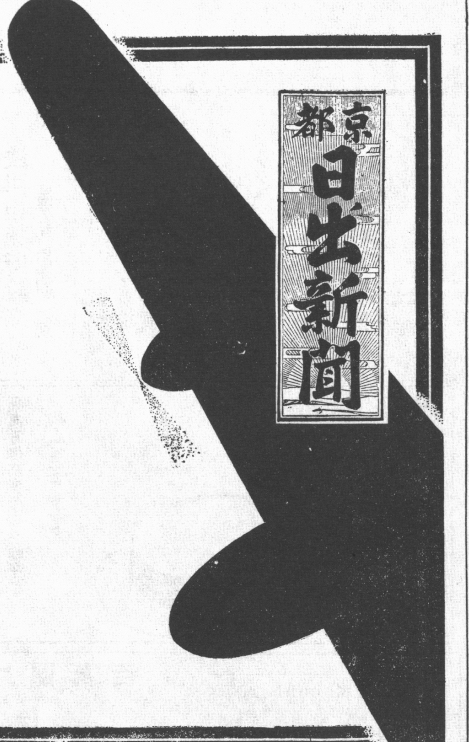
西田先生の教育の目的は、愛を人間にする。愛を表現し、愛を人間にする。それが、西田先生の教育の目的であった。...

奇聞

〇「天竺の奇蹟」

天竺の奇蹟は、...

西田先生の教育の目的は、愛を人間にする。愛を表現し、愛を人間にする。それが、西田先生の教育の目的であった。...



京
日
出
新
聞

信用のある
明るい新聞
京都では
日出新聞

業界の
最高指針

染織日出新聞